ハビナース

T-1-LA
T-1Lo-LA

# ロックアシスタ　自動タイヤロック付

●T-1-LA
●T-1Lo-LA

## 取扱説明書

保証書付き

このたびは、ハビナース「ロックアシスタ　自動タイヤロック付」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。
ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。
なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。

## 目　次

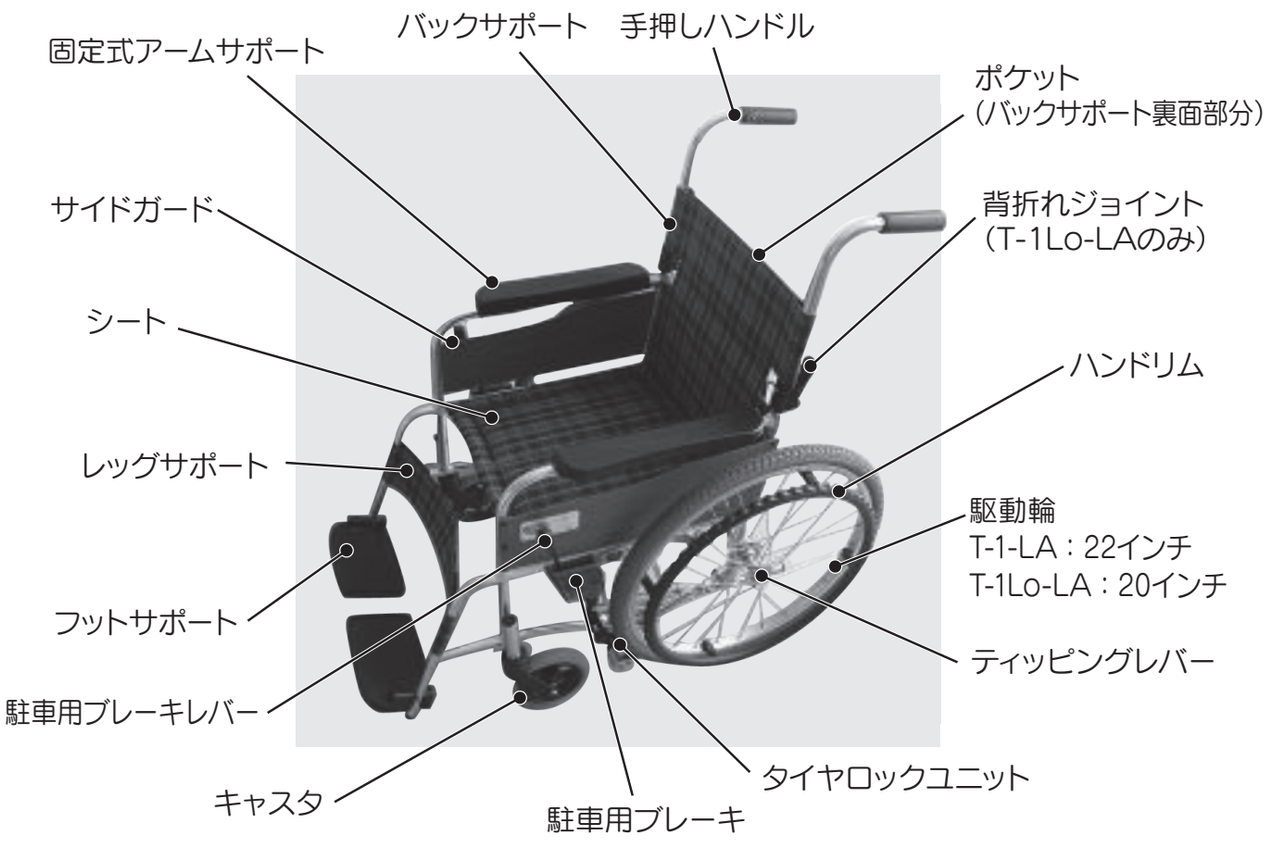

ページ

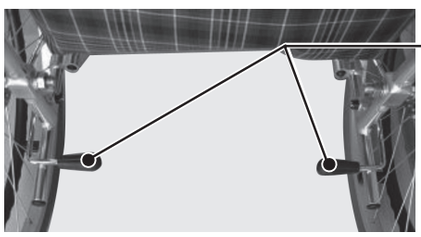
1. 主な特長……2
2. 各部の名称……2
3. 警告・注意マーク……3
4. 安全にお使いいただくために……3
5. 使用前の点検……6
6. 使用方法……7
7. お手入れの方法，点検……10
8. 保管方法……10
9. 仕様……11
10. アフターサービスについて……11
保証書……12

## 1. 主な特長

● シートから立ち上がると自動的にタイヤロックが働き、車いすのブレーキが掛かります。
※ タイヤロックは、万が一駐車用ブレーキを掛け忘れたまま立ち上がった場合に、車いすが前後方向へ動いてしまう事を防止する補助機能です。
※ 立ち上がる際に後方に力が加えられなかった場合には、前進方向にタイヤロックが効かないことがありますが、故障ではありません。
● 車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方のタイヤロック解除レバーを踏み込むことで、タイヤロックが解除されます。シート中央部に座るとタイヤロックがリセットされます。
● 使用者の適用体重は35kg以上です。
● アームサポートは幅が広く、アームサポートの内側に向けて傾斜しているので肘が安定します。

## 2. 各部の名称




※写真はT-1Lo-LA

## 3. 警告·注意マーク

製品を安全にお使いいただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 警告**　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。**

**⚠ 注意**　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。**

**⚠ 警告·注意を促す内容があることを告げるものです。**

**⃠ 禁止の行為であることを告げるものです。**

**❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

## 4. 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

### ⚠ 注意

**■タイヤロックの注意**

⚠ タイヤロック使用者の体重が適用体重の範囲で作動します。
適用体重に満たない場合は動作状況をご確認の上、ご利用ください。

❗ 車いすに座る時、シートの前方部分に浅く座るとタイヤロックは解除されません。ご使用の前に、シートに座りタイヤロックが解除されることをご確認ください。

❗ シートに手をつくと、 座る前にタイヤロックが解除される恐れがあります。停車時は、駐車ブレーキを必ず掛けてください。

⚠ ご使用になるクッションの種類により、タイヤロックが作動しない場合があります。

| | |
|---|---|
| 使用できないクッション | • ウレタンクッションの厚さが50mm以上のもの。<br>• 1kg以上の重いクッションまたはジェル·ウォーター入りクッションなど。<br>• クッションの下面に硬いボードが入っているもの。 |

### ⚠ 警告

❗ 停車時は、駐車用ブレーキを必ず掛けてください。

❗ 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

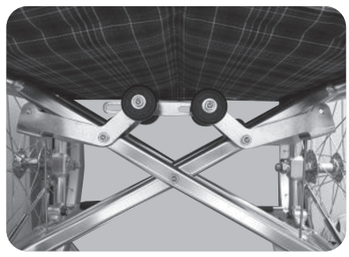
（次ページへ）

（前ページより）

❗ 使用される方の症状や状態で、座面中央部に着座しないことにより、タイヤロックが十分に解除せず、走行に支障をきたすことがあります。同様の理由で、立ち上がり時にタイヤロックが十分に作動しない場合があります。その場合、使用を中止していただくか、あるいは、着座位置が中央部になるように調整していただき、タイヤロックが解除されることを確認してください。

❗ 車載用の固定フックをタイヤロックユニット及び座面下ユニットに掛けないでください。
無理な負担が加わり、破損に繋がる恐れがあります。

タイヤロックユニット


座面下ユニット

## ⚠ 警告

### ■走行時の注意

⃠ 本製品は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。
**使用者最大体重（積載物を含む）100kg**

⃠ スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは転倒し大変危険です。

❗ 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。

❗ 走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。

⃠ 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。

⚠ 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。

⃠ バックサポートや手押しハンドルに重いものなどを掛けないでください。

⚠ 夜間や雨天時には、通行者や車から発見しにくくなりますので十分にご注意ください。

⚠ 回転している車輪に指を挟まないように注意してください。

⃠ タイヤを持って車輪を操作しないでください。駐車用ブレーキに指を挟み危険です。

## ⚠ 警告

### ■介助時の注意

⃠ 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどする、またタイヤの空気が膨張しパンクするおそれがあります。

⚠ 踏み切りを横断する際の溝や踏み切りの路線による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。

⃠ 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。

⚠ 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスタ及び地面・建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

⃠ シート以外に腰掛けないでください。

⚠ 認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分ご注意ください。

## ⚠ 注意

### ■保守･点検の注意

- ❗ 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取り、可動部に注油を行ってください。
- ❗ 使用する前に駆動輪、キャスタ、駐車用ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- ⊘ 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- ⊘ 路面に段差や凹凸のあるところ、湿気の多いところ、雨風の当たるところに車いすを放置しないでください。
- ❗ ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

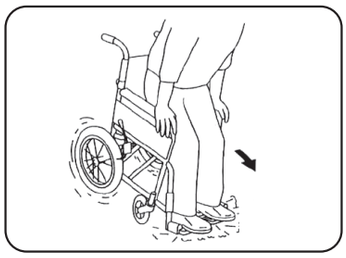
## ⚠ 注意

### ■停止時の注意

- ❗ 停止時は、必ず両輪の駐車用ブレーキを掛けてください。

| ⚠注意 | ❗ **停止時は、駐車用ブレーキを必ず掛けてください。<br>タイヤロックは、駐車用ブレーキを掛け忘れた時の補助ブレーキです。** |
|---|---|

### ■移乗時の注意



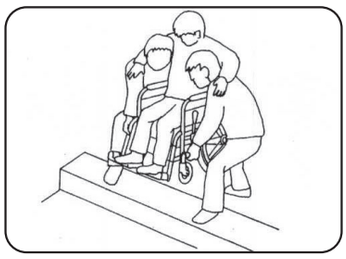
- ❗ 移乗する時は、必ず両輪の駐車用ブレーキを掛けてください。
- ⊘ 移乗する時は、駐車用ブレーキレバーに体重をかけないでください。
- ❗ 移乗する時は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。

  また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう、注意してください。

| ⚠注意 | ⊘ **フットサポートの上には乗らないでください。** |
|---|---|

### ■段差乗り越えの注意

- ❗ 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。



## 5. 使用前の点検

### 使用前に次の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や違和感を感じた時は、絶対に使用せず、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室にご連絡ください。

**①駆動輪の空気圧の確認**

適正空気圧　　300ｋPa（3㎏f/㎠）

目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。

**②駐車用ブレーキの作動確認**

駐車用ブレーキレバーを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

| ⚠注意 | ❗駆動輪の空気圧が少ないと、駐車用ブレーキが掛からない場合や、掛かりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。 |
|---|---|

**③タイヤロックの作動確認**

1）シートに使用者が乗っていない状態で、車いすを後方に押してタイヤロックを作動させ、車いすが前後に動かないことを確認してください。

2）使用者がシートに座った時に、タイヤロックが解除される（左右のタイヤロック解除レバーが上がっている）ことを確認してください。

3）使用者がシートから立ち上がった時にタイヤロックが働き、車いすが前後に動かないことを確認してください。

4）タイヤロック解除レバーを踏んだ時、タイヤロックが解除されることを確認してください。また、タイヤロック解除レバーを踏んだ状態でシートに座った時、タイヤロック解除レバーが跳ね上がり、タイヤロックが解除されていることを確認してください。

**④消耗品、交換部品の確認**

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室、にご連絡ください。

**消耗品・交換部品**

| 品　　名 | 交　換　時　期 |
|---|---|
| 駆　　動　　輪 | タイヤ表面に溝がなくなったとき。 |
| キ　ャ　ス　タ | しっかり取り付けていてもガタガタするとき。 |
| シ　　ー　　ト | ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。 |

# 6. 使用方法

## （1）開封

梱包内容を確認してください。

**①本体**

**②付属品（1式）**

｛スパナ（2本）、六角レンチ…3本(5mm,4mm,3mm)、
取扱説明書（1冊）｝

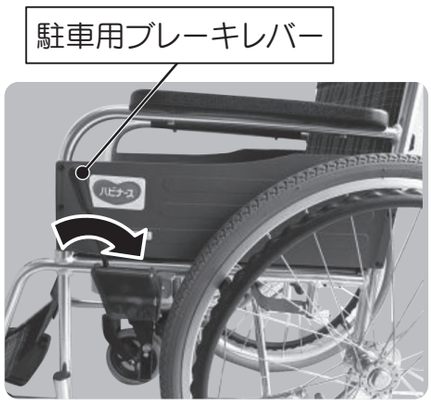
## （2）使用方法

**① ブレーキの掛け方、解除の方法**

1）駐車用ブレーキ

停止時は必ず両輪の駐車用ブレーキを掛けてください。
駐車用ブレーキレバーの操作は、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に行ってください。

**駐車用ブレーキレバーを矢印の方向に引くと、ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。**




| ⚠注意 | ❗目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。<br>駆動輪の空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。 |
|---|---|

2）タイヤロックの取扱い方法

使用者が車いすから立ち上がると、タイヤロックが働き、駆動輪にブレーキが掛かります。

| ⚠注意 | ❗停止時は、駐車用ブレーキを必ず掛けてください。<br>タイヤロックは、駐車用ブレーキを掛け忘れた時の補助ブレーキです。 |
|---|---|

| ⚠注意 | ❗シート中央部にきちんと体重が掛かるように座ってください。<br>本製品はシート中央部にて着座を感知します。 |
|---|---|

| ⚠注意 | ❗駐車用ブレーキが効く程度にタイヤへ空気を入れてください。<br>駆動輪の空気圧が低すぎるとタイヤロックの効きが悪くなります。 |
|---|---|

3）タイヤロックの解除の方法

シート中央部に座ると自動的にタイヤロックが解除され、タイヤロック解除レバーが跳ね上がります。
車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方左右のタイヤロック解除レバーを踏んでください。
タイヤロックが解除され、車いすを移動することができます。

タイヤロック解除レバー

②バックサポートの起こし方（T－1Lo-LAのみ）

バックサポートはロックされるまで起こしてください。
ワイヤーやシートなどをバックサポート固定部にはさみ込まないように注意してください。

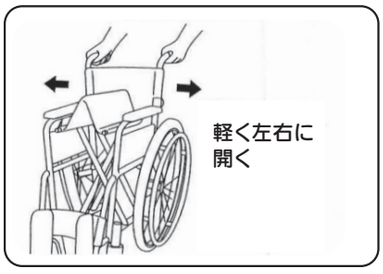
| ⚠注意 | ⃠バックサポートを起こす、たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または、身体の一部や衣服をはさむなどしてケガをしたり、衣服が損傷する恐れがあります。 |
|---|---|

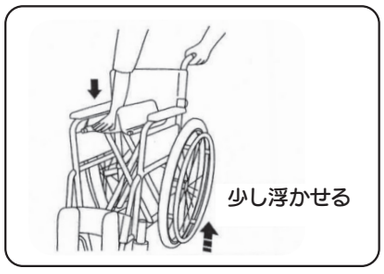
③バックサポートのたたみ方（T－1Lo-LAのみ）

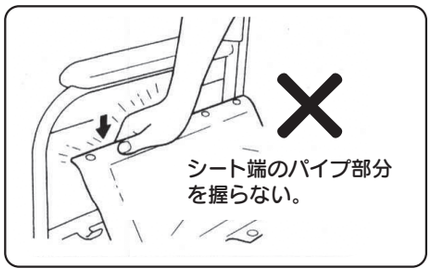
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを後方へ引きながら手押しハンドルを倒します。

④車いすの開き方

1）駐車用ブレーキのレバーを引いて駐車用ブレーキを掛けてください。
2）手押しハンドルを軽く持ち左右に開きます。
3）片側の車輪を浮かせて、浮いていない方のシート端のパイプ部分を上から手で押します。



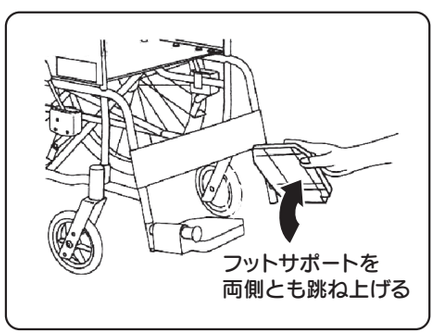




| ⚠注意 | ⃠ シート端のパイプを握らないでください。手がはさまれ危険です。 |
|---|---|

⑤車いすのたたみ方

1）フットサポートを跳ね上げ、シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。



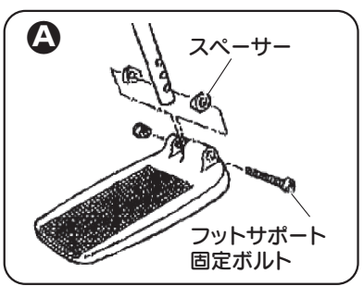

2）手押しハンドルを持って、左右から押し縮めるように折りたたみます。

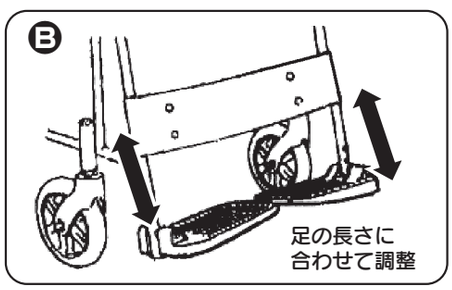
**⑥フットサポートの高さ調節**

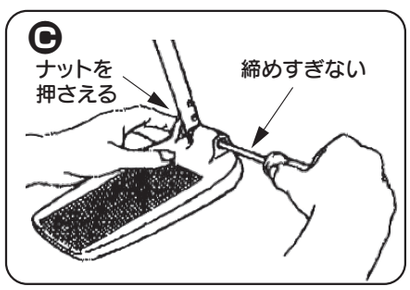
1）駐車用ブレーキレバーを引いて駐車ブレーキを掛けてください。

2）フットサポート固定ボルトを外します。このときフットサポートは下ろした状態にします。
フットサポート固定ボルトを外すときは反対側のナットを指で押さえておきます。
フットサポート固定ボルトが空回りをはじめたらフットサポートをかたむけてください。
フットサポート固定ボルトを取りやすくなります。（図Ⓐ）

3）足の長さに合わせてフットサポートの高さを調整します。（図Ⓑ）
（本製品は20mm間隔で3段階の調整ができるようになっています）
フットサポートの穴とパイプの穴位置を合わせて、そこへフットサポート固定ボルトを挿入してください。
フットサポートは片手で動かせるくらいの硬さを目安に取り付けてください。この時、フットサポート固定ボルトを締めすぎないように注意してください。（図Ⓒ）



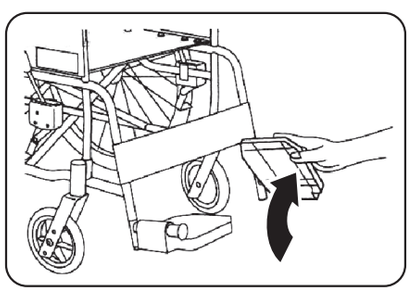




※六角レンチ（5mm）を使用します。

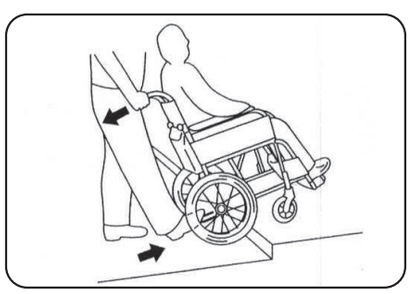
**⑦フットサポートの取扱い方法**

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げができます。介助のさまたげになる時は、跳ね上げてください。



**⑧段差乗り越えの方法**

足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、押し手ハンドルを手前に引くようにして、キャスタを段の上に上げてください。



| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ⃠無理な力による段差乗り越えはしないでください。フレームの破損につながります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ⃠フットサポートの先端を段差、障害物に当てないようご注意ください。 |

## 7. お手入れの方法、点検

**①本体フレームのお手入れ**

●本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。

●水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

**②手押しハンドルなどのプラスチック部品のお手入れ**（シート、バックサポート、固定式アームサポート）

●プラスチック部品の汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ⃠ シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。製品を痛める恐れがあります。 |

**③駆動輪の空気圧の確認**

●空気圧が低すぎると駆動が重くなり、また、タイヤロック及び駐車用ブレーキの効きが悪くなります。

**④駆動輪の溝の確認**

●駆動輪の減りが激しいものはパンクの原因になります。また、走行性や駐車用ブレーキの効きが悪くなるので交換が必要です。

**⑤走行性の確認**

●まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室にお問い合わせください。

**⑥駐車ブレーキ動作確認**

●定期的に駐車用ブレーキのリンク部に注油を行ってください。

**⑦シートの確認**

●車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長期間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、破損、たるみが著しい場合は交換をおすすめします。

**⑧タイヤロックの確認**

●シートに座ったとき、タイヤロック解除レバーが跳ね上がらなくなった場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室にお問い合わせください。

**⑨各部ネジの確認**

●駆動輪、キャスタ、駐車用ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | ⃠ タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。 |

## 8. 保管方法

**①収納スペースが少ないときは、車いすをたたんで保管してください。**

**②錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所には保管しないでください。**

## 9. 仕様

| 項目 | | 仕様 | |
|---|---|---|---|
| 型番 | | T－1自動タイヤロック付 | T-1Lo自動タイヤロック付 |
| 使用者適用体重 | | 35kg以上 | |
| 材質 | フレーム | アルミ(アルマイト処理) | |
| | シート | ナイロン(シート･バックサポート･レッグサポート) | |
| 寸法(mm) | 前輪キャスター×後車輪 | 6×22 インチ | 6×20 インチ |
| | 前座高 | 435 | 375 |
| | 後座高 | 410 | 350 |
| | 座幅 | 400 | |
| | 奥行 | 400 | |
| | バックサポート高 | 380 | |
| | 固定式アームサポート高 | 220 | |
| | 手押しハンドル高 | 840 | |
| | 全幅 | 630 | |
| | 全高 | 860 | |
| | 全長 | 990 | 945 |
| | 折り畳み幅×高×長さ | 340×860×990 | 340×735×945 |
| 重量(kg) | | 16kg | 16.1kg |

## 10. アフターサービスについて

### この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室へお申しつけください。

### 修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室にお問い合わせください。

### 商品の保証について

(1) 保証内容につきましては、裏面の保証書をご覧ください。

(2) 保証期間終了後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。


**ピジョンタヒラ株式会社**
〒165-0021 東京都中野区丸山2－5－19
TEL 03(5373)6711(代表)
受付時間 9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp

**ピジョン株式会社**
〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
(お客様相談室) TEL 03(5645)1235
受付時間 9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/

# 保　　証　　書

商品名　ロックアシスタ　自動タイヤロック付

型　式　T-1-LA、T-1Lo-LA

1. 本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、下記販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
3. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスタ・タイヤの摩耗やシートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
4. 保証期間内でもつぎの場合は有償修理になります。

(1)　使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)　お買い上げ後の落下等による故障および損傷
(3)　火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷
(4)　一般家庭・施設・病院用以外に使用された場合の故障および損傷
(5)　本書の提示がない場合
(6)　本書にお買い上げ年月日、お客様のお名前、ご住所の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。


**ピジョンタヒラ株式会社**
〒165-0021　東京都中野区丸山2−5−19
TEL 03(5373)6711(代表)
受付時間　9時～17時(土・日・祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp

**ピジョン株式会社**
〒103-8480　東京都中央区日本橋久松町4-4
(お客様相談室) TEL 03(5645)1235
受付時間　9時～17時(土・日・祝日を除く)
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/


下記※印欄にご記入のない場合は無効となります。必ずご記入ください。

| お 客 様 | ※販売店 |
|---|---|
| ご住所 〒　　− <br><br> お電話　　−　　− | |
| お名前　　様 | シリアル番号: |
| ※お買上げ年月日　　年　　月　　日 | (お買い上げ時のレシート添付でも有効) |